

令和4年第一回定例会 4日間の会期延長 西岡市長、「議会を混乱」させた責任で自ら10%減給



小金井で元気に！ 小金井を元気に！

五十嵐京子

通信 第60号

小金井市議会議員

2022年4月発行

五十嵐京子を支援する会



議会との調整も、決断もできず、「辞めたら」「出処進退」を問う複数の議員の声

前号でお伝えしましたように、昨年11月令和3～7年の中期財政計画で示された庁舎建築費用は84.4億円から90.7億円上がったために、議会から庁舎建設の手続きを一旦見合わせるよう求めました。

その後市長は一旦工事発注に向けての手続きは止め、あとの対応策を示すとしてきたものの、この間何度か議会で発言する機会があったにも関わらず、検討する時間が欲しいというばかりで、令和4年第一回定例会が開会されても具体的な方針は提示されませんでした。開会3か日目の2月20日

の日曜議会では与党からの質問にも目途が示されず、回答がないままに審査が途中になっていった第5次基本構想と令和4年度新年度予算の審査に入れないというところまで陥ってしまいました。

打開策は議会から

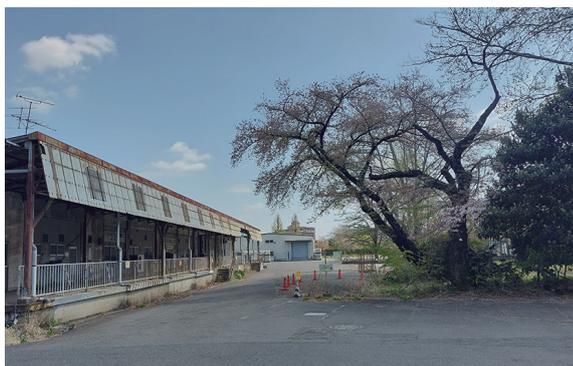
結局西岡市長からは打開策は示されず、議会側から調整が入り、西岡市長は3月16日の基本構想審査特別委員会で、ようやくこの間具体策を提示できなかったことをお詫びし、議会からの庁舎に関する指摘を真摯に検討することを約束し、審査に入るこ

名称	小金井市新庁舎・(仮称)新福祉会館 新築工事		
名地番	東京都小金井市中町三丁目1957番5、7、9、1995番3、4 緑町五丁目1957番17		
用途	事務所(官公署)、 活動センター、 児童福祉施設等(障害福祉サ ビス事業の用に供する施設)、 高齢者福祉、自衛隊駐屯地、その他	開発区域積	11,417.39
築面積	4,100.00㎡	延べ面積	19,000.00㎡
道	道路法(一部、道路コンクリ ート道、教育施設コンクリート道)	基礎工法	杭基礎
敷	地上6階地下1階	高さ	27.00m
予定	未定	完了予定	未定
名(住所)	東京都小金井市本町六丁目6番3号		
(氏名)	小金井市 市長 西岡真一郎 電話(042)383-1111		
名(住所)	東京都墨田区錦糸二丁目10番12号		
(氏名)	株式会社社会福祉総合計画 課長 坂 電話(03)5611-7208		
工名(住所)	未定		
(氏名)	未定		
開議期年月日	2021年 2月13日		

庁舎等用地に貼りだされた看板の
工事着工時期も「未定」に

とができました。審査に入り、既に会期延長は避けられない状態となつての質疑の中で、西岡市長にこの間の責任をどう考えるかと問うと、しっかり庁舎建設をするのが責任の取り方との答弁だったため、私の方からはしっかり仕事をするのは当たり前のことであり、

市長としての役割を果たさなかったことの責任は、お詫びで済ませられるものではないと指摘しました。



新庁舎等建設用地の蛇の目跡地

その後第一回定例会の最終日には、具体的な方針が提示できなかったことと議会日程に影響を及ぼしたことに對し、西岡市長自らの報酬の4月分を10%カットする議案を提案し、賛成多数で可決されましたが、責任の取り方としては不十分との批判もあり、こうした議論の過程では、議会との調整もできず、決断もできないならもう辞めた方が良いでしょう、とか出処進退を問う厳しい指摘が複数の議員から出る場面もありました。異常な事態と言わざるを得ません。

西岡市長には自らの言動の意味することを自覚していただきたいと思えます。

新たな協議の場の設置へ

なお、庁舎等建設については、議会との合意形成のために協議会の設置が市長から提案され、その準備に入りました。

令和4年第一回定例会の審査から

一般質問、新年度予算、ほか

一般質問から

浴恩館の歴史を語り継ごう

現在、緑町にある小金井市文化財センターは、「浴恩館」と言い、昭和初期に全国青年団講習所として活用された建物です。戦後「次郎物語」という小説を書いた下村胡人が所長を務めていた所として知られていますが、この場所で当時全国から集まった青年にどのような教えを実施していたかを知る人は必ずしも多くはありません。再評価されるべき小金井市の歴史を多くの人々の語り伝えて行こうという提案をしました。

青年団講習所を誘致したのは田澤義舗（よしはる）で、佐賀県出身で公務員から貴族院議員になり、青年の教育に力を尽くした人です。この田澤が下村胡人を招き講習所の所長にしました。二人とも青年教育は上から教えるのではなく、若者同士が集団生活をしながら身に付けていくもの、つまり自ら考えることによって身に付けるものという考えでした。この考えは、考える力をつける、という現在の学校教育にも通じるものです。戦争の陰が忍び寄りつつある時代の中

でも、自ら考えるという教育に力を尽くした人が小金井について、全国



外観は浴恩館の時代のままの文化財センター

から若者が学びに来ていたという誇るべき事実をもっと語り継ぐことができれば、文化財センターでの浴恩館の歴史を開催することを提案し、前向きに検討していただくことになりました。



周辺の景観も素晴らしく維持管理を要望

自治体DXの進捗状況を問う

コロナ感染症の拡大の影響もあり、国にデジタル庁ができて、オンライン会議を始め民間問わず、デジタル化が進められています。自治体の場合は自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）と言って、自治体間の互換性を高めるための標準化が国から方針として示されています。

引越しワンストップというキーワードで、引越しに伴う様々な手続きのデジタル化を図ることで、市民の利便性のアップにつながります。進捗状況を確認し、令和5年1～2月にはサービス開始を予定しているとの答弁でしたので、全課の職員の認識共有を図るよう要望しました。

市役所で保管する書類の管理について

新庁舎建設にあたってコロナ感染症の拡大以前は、保管書類の7割削減を目標にしていますが、目標達成には至っていないと聞いていま

す。DX導入も進められているので再度の検討を求めました。議会の議事録を例に挙げ、永久保存とされている書類の保管について、更に今後新庁舎に入ってから100年分の保管について考え方を問いました。今はまだ課題も残っており、課題を共有し、しっかりと対応策を検討することを要望しました。

新年度予算や条例の審査から

・要望していた集会所の和室の畳替えや座敷チェアへの購入が実施されます。

・居住支援協議会の発足―不動産協会等と協力して、新たな住居を確保することが困難な一人暮らし高齢者等の手助けができるよう設置されました。以前から要望してきたことで、社会福祉協議会が窓口になる予定。

・デジタル化推進のために、次期住民情報システム導入支援や講座管理システム機器借り上げなどの推進。

・これから始まる学校を始めとする公共施設更新の工事に備えて、**公共施設マネジメント基金**がようやく創設されたものの、実際に基金を積むのは9月の予定と説明がありました。

5年前から提案されていてようやく実現するわけですが、事業を計画的に行うために基金を活用するもので、全体に計画性に欠けるのではと指摘をしました。

お知らせ
HPから動画配信を見ることができます。

小金井 五十嵐京子
で、検索
HP://igarashi-kyoko.com
トップページで市政のテーマ毎に
月2～3回配信

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

小金井市議会議員

五十嵐京子

通信
第60号

2022年4月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町 3-8-9-312

電話 042-384-9920